



2015年度(平成28年3月期)
第2四半期 決算説明会

エーザイ株式会社

2015年10月30日

hvc
human health care

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

2015年度第2四半期累計 業績のポイント



グローバル4ブランド*1の育成と成長3リージョン*2の貢献

グローバル4ブランド合計 売上収益:298億円(前同比143%)
中国 売上収益:261億円(前同比137%)、アジア 売上収益:173億円(前同比117%)
EMEA 売上収益:202億円(前同比111%)

企業価値向上の戦略的オプションを着実に断行

- Purdue PharmaとLemborexantに関する共同開発・共同販促契約を締結(8月)
- エーザイの消化器疾患領域事業と味の素製薬株式会社を統合し、新統合会社EAファーマ株式会社を設立することを発表(10月)

領域集中戦略の実行によるプロダクトクリエーションの加速

- Halaven 軟部肉腫 日米欧で同時申請達成(7月)、米国FDAより**優先審査品目**に指定(9月)
- LENVIMA 甲状腺がん 日米欧で上市達成(米国:2月、日本:5月、欧州:6月)
肝細胞がん1stライン フェーズIII試験の患者様組み入れを達成(7月)
腎細胞がん2ndライン 米国FDAより**ブレイクスルーセラピー**の指定を受領(7月)
胆道がん2ndライン フェーズII試験を日本で開始(8月)
- Fycompa 欧米 全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応追加を達成(6月)
日本 部分発作および強直間代発作の併用療法の適応で承認申請(7月)
- 次世代アルツハイマー型認知症治療薬 最重要パイプラインとして早期開発をめざす

*1 Halaven、LENVIMA、Fycompa、BELVIQ *2 中国、アジア、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

2015年度第2四半期累計 連結業績(IFRS)

増収増益を達成



(億円、%)

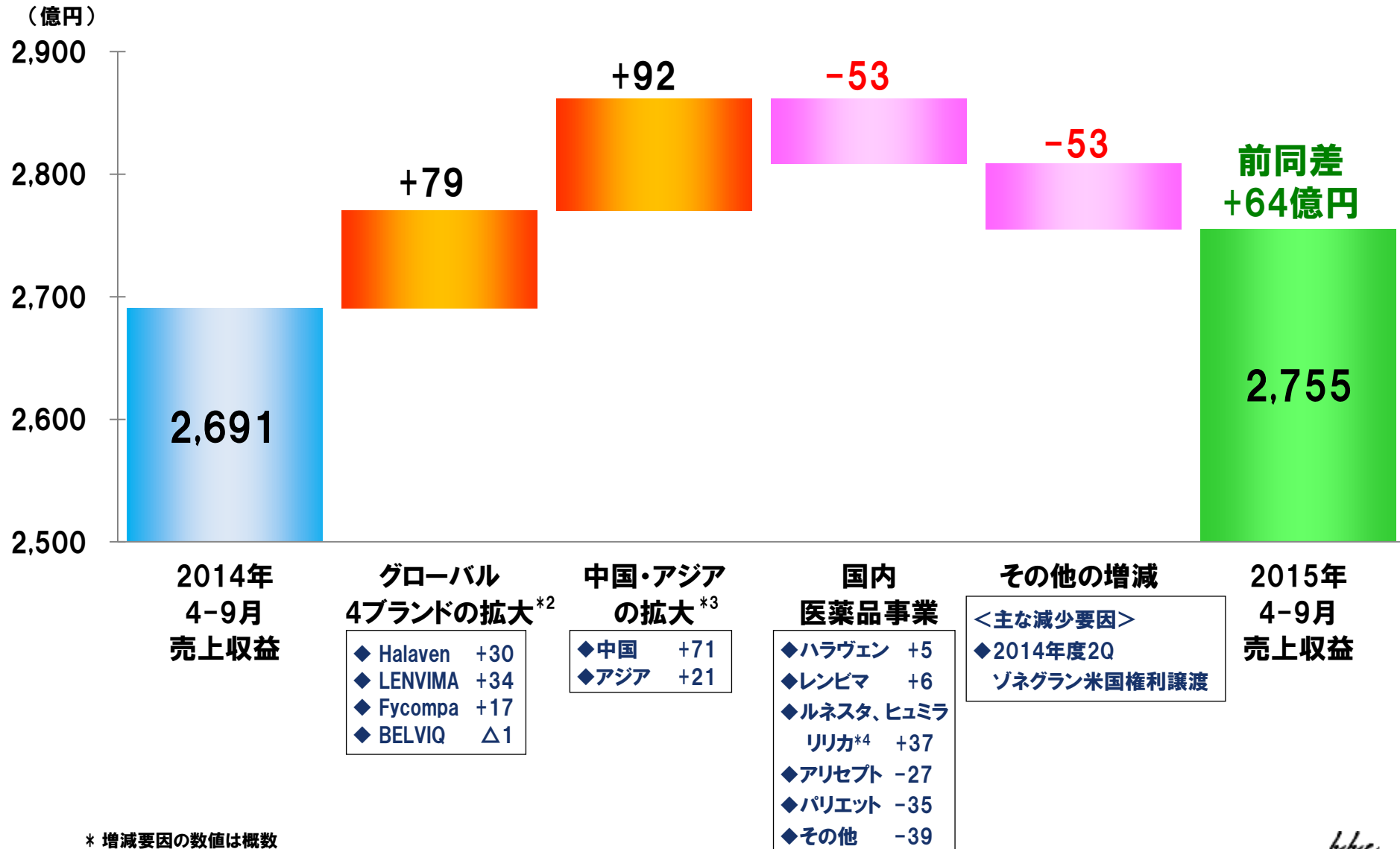
	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	2,691	100.0	2,755	100.0	102
売上原価	938	34.9	995	36.1	106
売上総利益	1,752	65.1	1,760	63.9	100
研究開発費	621	23.1	628	22.8	101
販売管理費	947	35.2	964	35.0	102
その他の損益	△4	△0.2	13	0.5	
営業利益	180	6.7	181	6.6	100
四半期利益	105	3.9	111	4.0	106

2015年度第2四半期累計期中平均レート

米ドル: 121.79円(前期変動率+18.2%)、ユーロ: 135.06円(同△2.8%)、英ポンド: 187.76円(同+8.7%)、人民元: 19.43円(同+16.9%)

売上収益の増減要因分析

グローバル4ブランド、中国・アジア^{*1}の順調な拡大により増収を達成



* 増減要因の数値は概数

*1 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

*2 国内医薬品事業の実績は除く

*3 グローバル4ブランドの実績は除く

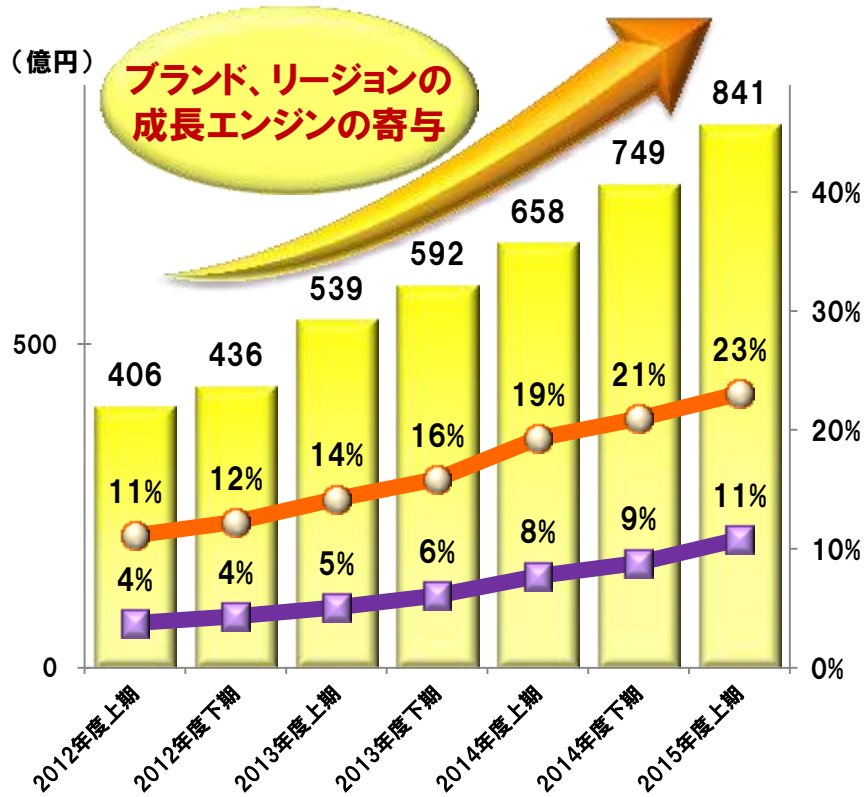
*4 アライアンス収入

グローバル4ブランド*1・成長3リージョン*2の貢献と 日本医薬品事業の転換



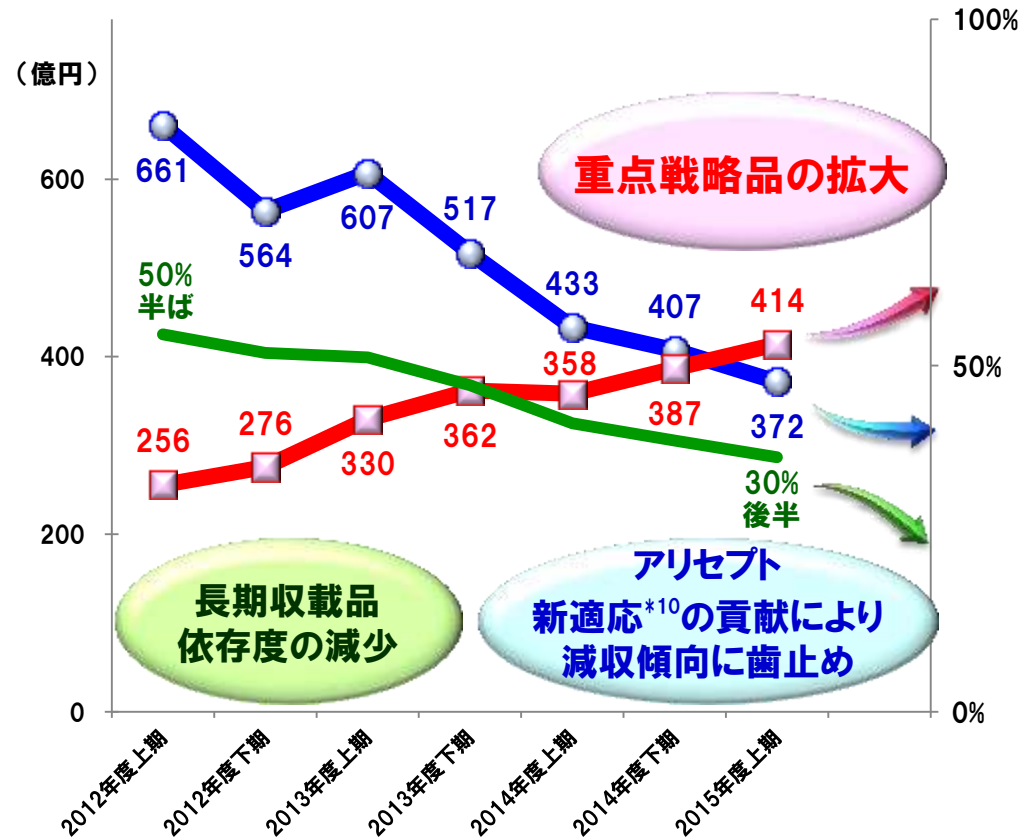
グローバル4ブランド、成長3リージョン 売上収益の推移

- グローバル4ブランド・成長3リージョン 売上収益*3
- 成長3リージョン 売上収益 対連結売上収益構成比*4
- グローバル4ブランド 売上収益 対連結売上収益構成比*5



日本医薬品事業 品目別売上収益推移

- アリセプト、バリエット 2品合計売上収益
- 重点戦略品 売上収益 (ルネスタ、ヒュミラ、リリカ*6、オンコロジー領域製品*7など)*8
- 国内長期収載品売上収益 対国内売上収益構成比*9



*1 Halaven, LENVIMA, Fycompa, BELVIQ *2 中国、アジア、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア) *3 グローバル4ブランドと中国・アジア・EMEAの売上収益の合算値(重複分を除く)

*4 グローバル4ブランドの売上収益との重複分を含む *5 アジア・EMEAの売上収益との重複分を含む *6 アライアンス収入 *7 ハラヴェン、レンビマ、トリアキシム、キリアデル

*8 マクスルト、リバクレオン、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロックを含む *9 社内推計(概算値) *10 レビー小体型認知症

営業利益の増減要因分析

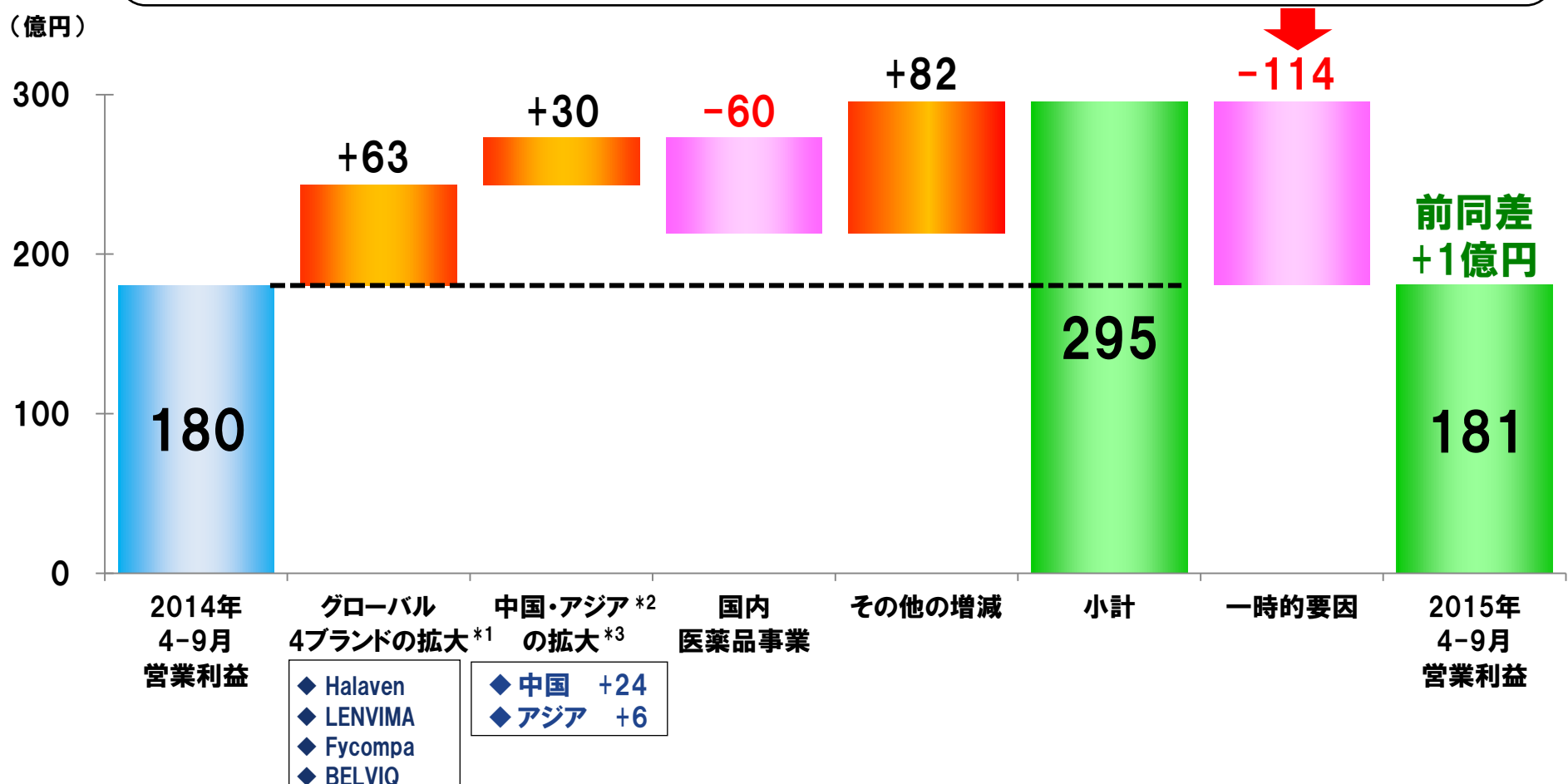
営業収益力の向上により増益を達成

<増加要因>

2015年度2Q 米国ノースカロライナ工場譲渡
2015年度2Q Lemborexant共同開発・販促契約締結

<減少要因>

2014年度1Q Biogen社からの一時金の受領
2014年度2Q ソネグラン米国権利譲渡
2015年度1Q 米国構造改革による一時金の発生



* 増減要因の数値は概数

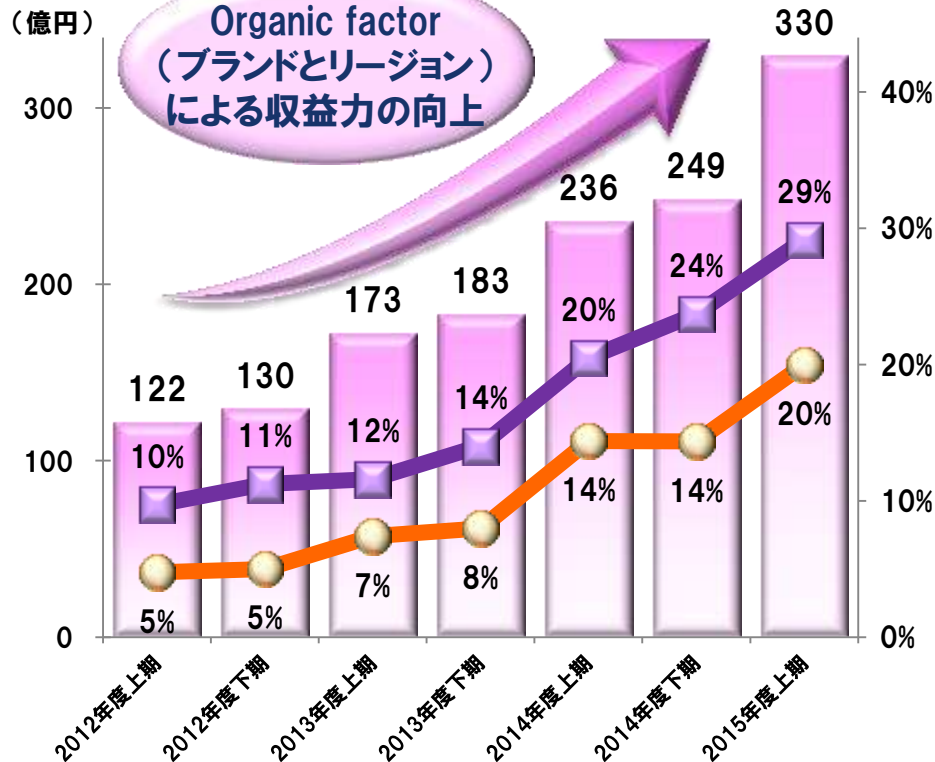
*1 国内医薬品事業の実績は除く *2 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 *3 グローバル4ブランドの実績は除く

グローバル4ブランド*1・成長3リージョン*2の拡大による 営業収益力の向上



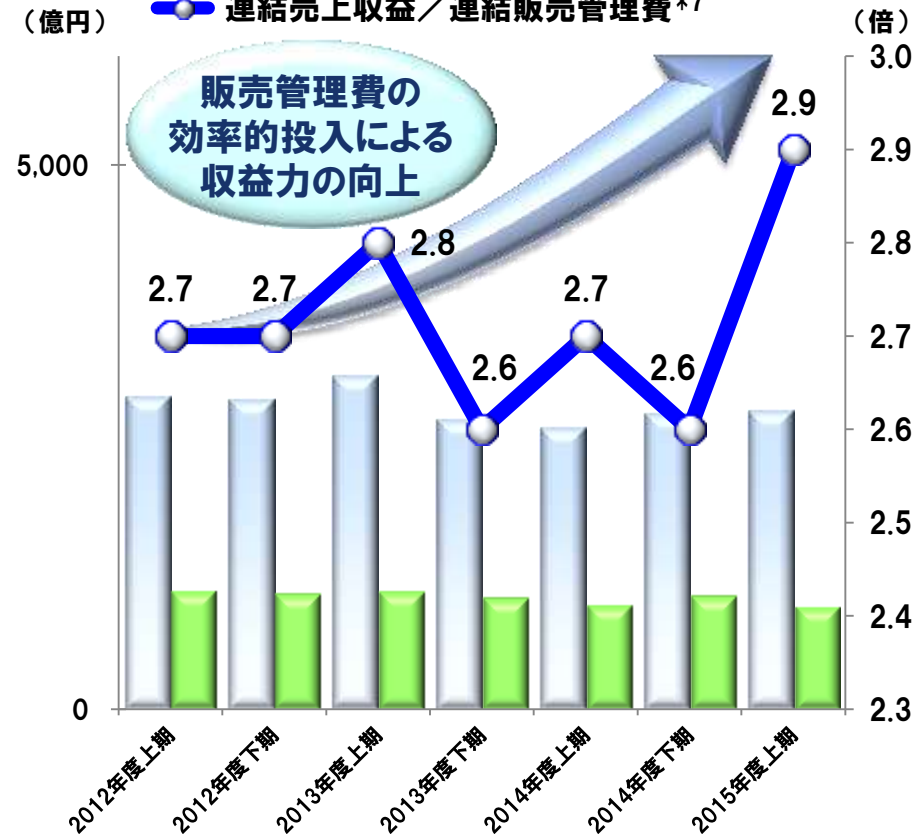
グローバル4ブランド・成長3リージョン
利益*3と対セグメント利益計*4構成比の推移

- グローバル4ブランド・成長3リージョン 利益
- グローバル4ブランド粗利 対セグメント利益計構成比*5
- 成長3リージョンセグメント利益 対セグメント利益計構成比*6



連結売上収益/連結販売管理費の推移
(一時的要因を除いた実質ベース)

- 連結売上収益(一時的要因を除く)
- 連結販売管理費(一時的要因を除く)
- 連結売上収益/連結販売管理費*7



*1 Halaven, LENVIMA, Fycompa, BELVIQ *2 中国、アジア、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

*3 中国・アジア・EMEAのセグメント利益とグローバル4ブランドの粗利の合算値(重複分を除く) *4 各報告セグメントおよびその他事業のセグメント利益の合計

*5 アジア・EMEAのセグメント利益との重複分を含む *6 グローバル4ブランドの粗利との重複分を含む *7 概数

2つの異なるがん種、3つの大規模フェーズIII試験でOS*¹延長が確認された唯一のChemotherapy

Halaven 売上収益推移 (億円)



**2Q累計売上収益199億円
前同比121%達成**

2Q累計 地域別売上収益 前同比

各リージョンで2桁成長を達成

アメリカス
117%

EMEA*²
123%

日本
115%

アジア
180%

価値最大化に向けた取り組み

軟部肉腫の適応追加申請が米国FDAより
優先審査品目に指定(2015年9月25日)
PDUFA*³アクションデート:2016年1月29日

抗PD-1抗体 ペムブロリズマブとの併用療法で
トリプルネガティブ乳がんに対する効果の可能性を追究
2015年8月にフェーズIb/II試験開始

中国において転移性乳がんの患者様を対象とした
フェーズIII試験(304試験)の患者様組み入れが完了
2015年度申請予定

Halozyme Therapeutics Inc.のPEGPH20 との
併用投与による進行性HER2陰性乳がん
ファーストライン治療の臨床試験における提携を締結

甲状腺がん適応で400億円超達成に向けて順調なスタート

血管新生を促進するVEGFR&FGFRのデュアル阻害と
がん細胞の増殖を促進するFGFR&RETの阻害で
速やかに優れた治療効果を長期にわたり実現可能

“EARLY”

“FIRST”

“LONGER”

2Q累計売上収益
41億円

20カ国以上で
上市をめざす

日本・欧州で
上市達成

米国で
上市達成

2014年度
実績

2015年度
上期実績

2015年度
見通し

さらなる大きな成長機会

- ①未だ上市していない多くの大市場での拡大
 - ・EU5カ国中4カ国での保険償還を見込む
 - ・韓国での直近の承認取得
 - ・成長市場であるカナダ、オーストラリア、ロシア、ブラジルにおける承認を見込む
- ②リアルワールドでの処方経験に基づく1stラインでの使用拡大の加速
 - ・NCCN*2甲状腺ガイドラインにおけるLENVIMAの推奨
- ③LENVIMAによる早めの治療へのパラダイムシフトが加速
 - ・医師紹介ネットワークによる潜在甲状腺がん患者様への更なるアクセス拡大
 - ・経験則からの最適な副作用マネジメントの浸透

**ピークポテンシャル
400億円超へ**

グローバルで約1500人*1の甲状腺がん患者様が服薬
現在10カ国以上で上市、35カ国で承認取得
カナダ、ブラジル、ロシアを含む13カ国で申請中

ユニークな阻害活性による適応拡大で価値最大化へ

LENVIMAのユニークな阻害活性

- 血管新生を促進するVEGFR&FGFRのデュアル阻害
- がん細胞の増殖を促進するFGFR&RETの阻害

適応拡大	LENVIMAの期待される作用機序*1	ステージ
肝細胞がん 1stライン	✓ VEGF&FGF誘導血管新生阻害	◆ フェーズIII試験の患者様組み入れを7月に達成(954例)、順調に進行中
腎細胞がん 2ndライン	✓ VEGF&FGF誘導血管新生阻害 ✓ mTORパスウェイ阻害との相乗効果	◆ 7月に米国FDAよりブレイクスルーセラピーの指定を受領 ◆ フェーズII試験(205試験)の結果が Lancet Oncology に掲載
子宮内膜がん 2ndライン	✓ VEGF&FGF誘導血管新生阻害 ✓ FGFR変異がん細胞の増殖阻害	◆ コンパニオン診断薬開発を伴う新たなフェーズIIb試験を準備中
胆道がん 2ndライン	✓ VEGF&FGF誘導血管新生阻害 ✓ FGFR変異がん細胞の増殖阻害	◆ フェーズII試験を日本で8月に開始
免疫チェックポイント阻害剤*2との併用	✓ VEGF&FGF誘導血管新生阻害 ✓ FGFR変異がん細胞の増殖阻害	◆ フェーズIb/II試験が順調に進行中



**適応拡大800億円超*3と
甲状腺がん400億円超で
グローバルピークセールス1200億円超
を見込む**

*1 J Thyroid Res. 2014;2014:638747, Cancer Lett. 2013 Oct 28;340(1):97-103, Clin Cancer Res. 2008 Oct 1;14(19):6146-53, Clin Genitourin Cancer. 2012 Jun;10(2):77-83, BJU Int. 2009 Dec;104(11):1585-9, Onco Targets Ther. 2011;4:43-58, Am J Pathol. 2003 Jun;162(6):1913-26, Proc Natl Acad Sci U S A. 2008 Jun 24;105(25):8713-7

*2 抗PD-1抗体 ペムブロリズマブ

*3 リスク調整後

Fycompa 欧米

全般てんかんの強直間代発作に対する併用療法で承認取得(2015年6月)



部分てんかん、全般てんかんを問わず強直間代発作(All GTC*)に対する併用療法として使用可能へ

欧米での患者様貢献が加速

2Q累計売上収益	アメリカス	16億円(前同比343%)
	EMEA	16億円(前同比147%)

Fycompa 日本

部分発作および強直間代発作に対する併用療法の適応で承認申請(2015年7月)

2016年度上期 上市予定

Fycompa 売上収益推移 (億円)



BANZEL(米国)

**特許訴訟和解により特許保護期間が
2016年5月より長期間延長の予定**

費用対効果を見極めたマーケティング戦略を推進

2Q累計 売上収益 26億円（前同比95%）
販売管理費 前同比約4割にコントロール

新たな地域別アプローチ

- ✓ 肥満症患者様が多く、かつ肥満症治療薬が処方されやすい保険プランが高いシェアを維持している地域に特化したマーケティング展開
- ✓ 全米の地域特性を調査し、成長が見込める地域にリソースを集中投入することで、より効率的なマーケティングの展開とシェア拡大をめざす

始動した22地域のうち16の地域でマーケットシェアが向上
利益創出に向けたレーザーフォーカスマーケティングミックスを継続展開

有用性拡大へのライフサイクルマネジメントの推進

2015年度

- 1日1回製剤申請予定
- ブラジル、メキシコで上市準備開始
- 心血管アウトカム試験の患者様組み入れ（12,000名）が完了見込み（3Q）

2018年度

- 心血管アウトカム試験のトップライン結果取得予定
 - MACE^{*1}
 - 2型糖尿病発症における抑制効果の評価
 - MACE+^{*2}

異なるタイプの次世代アルツハイマー型認知症治療薬候補品を有するアドバンテージ



1. A β 産生抑制療法 (A β Production Lowering Therapy) をめざす

E2609

自社創製の
BACE*¹阻害剤
(フェーズII)

タイムラインを短縮するオプションも検討し、その一環としてフェーズIIIの試験デザイン(治験対象患者様、主要評価項目、投与期間、症例数、エントリー基準)の検討開始

フェーズII試験の安全性ステージのトプライン結果取得予定(2015年度4Q)
Webサイト仮登録システムを採用する等、患者様組み入れの加速を企図

2. A β 除去療法 (A β Plaque Clearing Therapy) をめざす

BAN2401

抗A β プロト
フィブリル抗体
(フェーズII)

2015年9月 フェーズII試験の8回目(550例)の中間解析を実施
2015年度4Q フェーズII試験のトプライン結果取得予定
(最短650例でEarly Success*²の可能性)

Aducanumab*³
(BIIB037)

Biogen社の抗A β 抗体
(フェーズIII)

フェーズIII試験の患者様組み入れを開始

早期のアルツハイマー型認知症患者様を対象とした
試験を2本実施中(18ヵ月での主要評価)

*1 BACE: β セクレターゼ *2 試験途中で対照群に対して実薬群が「有効」と判断し、新たな患者様の組み入れを止めること

*3 エーザイがオプション権を保有

エーザイとPurdue Pharmaが Lemborexantに関する共同開発・共同販促契約を締結(8月)



不眠症治療薬ルネスタの開発、
認知症・てんかん等の
神経領域における豊富な経験



慢性疼痛研究のパイオニア
であり、不眠症など神経領域の
スペシャリティーファーマ

神経領域における両社のベストなノウハウと経験を結集

開発スピードと成功確率の向上により早期承認をめざす

不眠症を対象としたフェーズII試験結果で示されたLemborexantの特徴

<有効性>

プラセボ群に対して、**全ての用量群**
(1mg群~25mg群)において**平均睡眠**
効率*1を統計学的に有意に改善

<安全性>

想定される臨床用量*2では、
翌日の眠気の持ち越し効果は
無いことが示唆

フェーズIII試験の計画は両社で合意済(試験用量:2.5mg、5mg、10mg)
フェーズIII試験開始準備中

*1 睡眠効率(%):入眠から最終覚醒までの時間から中途覚醒時間を除いた時間/就床から起床までの時間×100

*2 2.5mg、5mg、10mg

領域集中戦略の実行



エーザイ株式会社の消化器疾患領域事業と味の素製薬株式会社の統合



国内最大の消化器スペシャリティファーマを目指して



消化器疾患
領域事業

「EAファーマ株式会社」が誕生

2016年4月1日 発足予定

味の素製薬

研究開発から販売までの製薬バリューチェーン全体の強化を実現

現製品ラインアップの拡充により売上収益は800億円以上（2014年度実績）

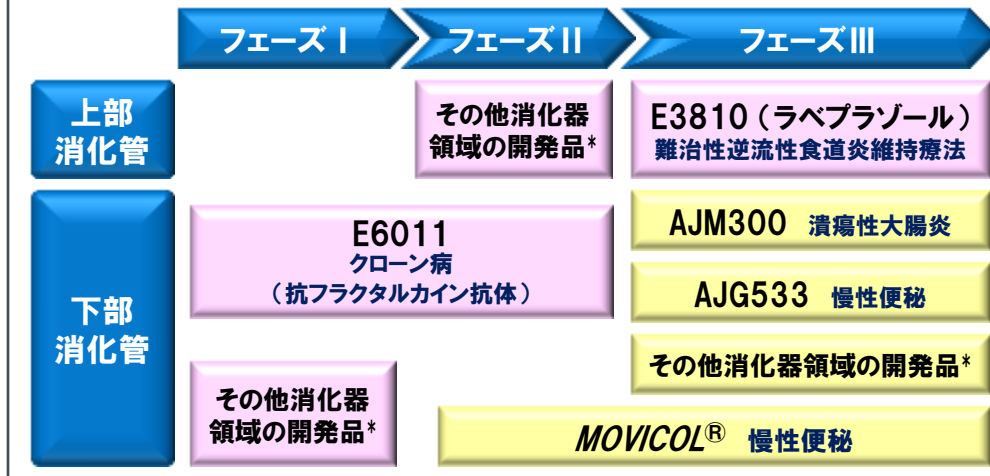
開発パイプラインの拡充と情報・ソリューション提供の強化により

さらなる企業価値最大化をめざす

製品ラインアップ

食道・胃・十二指腸	膵臓、肝臓	小腸・大腸
バリエット® プロトンポンプ阻害剤	リーバクト® 肝疾患用分岐鎖 アミノ酸製剤	ニフレック® 経口腸管洗浄剤
セルベックス® 胃炎・胃潰瘍治療剤	ヘパンED® 肝不全用成分栄養剤	モビプレック® 経口腸管洗浄剤
その他の消化器領域の提携品*	その他の消化器 領域の提携品*	
その他の消化器領域の提携品*		
エレンタール® 成分栄養剤		

開発パイプライン



* エーザイもしくは味の素製薬がパートナーと提携を行う国内における消化器疾患領域の販売製品および開発品に関しては今後パートナーの了承を得た上で、新統合会社への移管もしくは継続する予定

エーザイ

味の素製薬

ニューロロジーとオンコロジーの2領域集中



Eisai Neurology Group

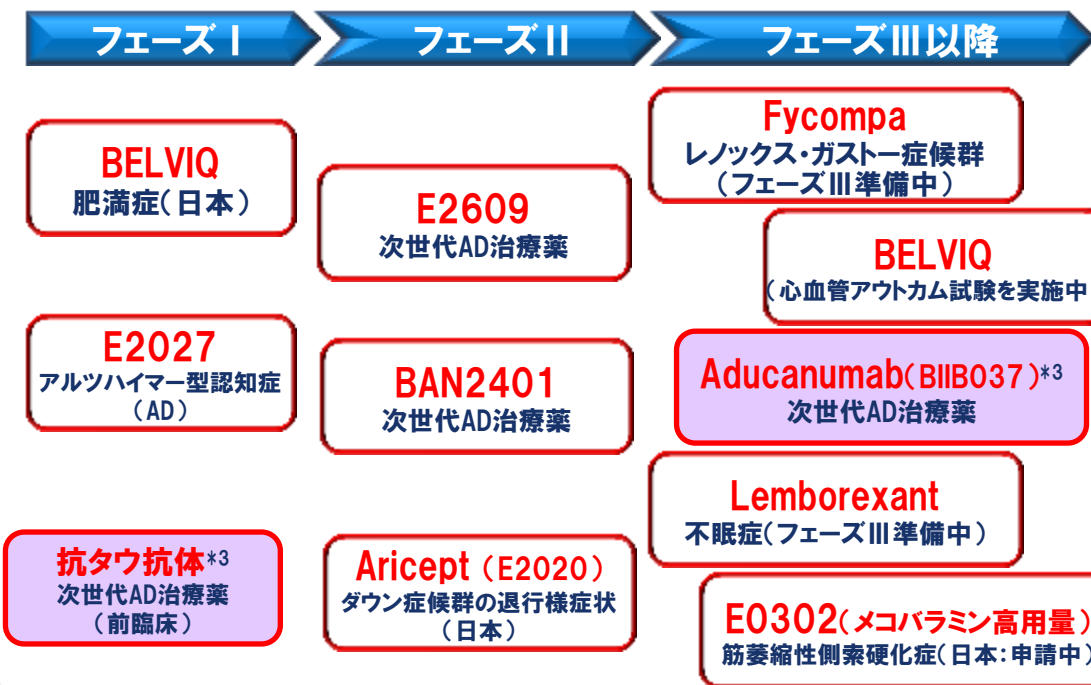
2014年度売上収益 **1794億円**

グローバル売上ランキング*1 17位

<主要製品>

アリセプト アルツハイマー型認知症 レビー小体型認知症	メチコパール 末梢性神経障害
リリカ *2 疼痛	イノベロン/BANZEL レノックス・ガストー症候群
Zonegran てんかん	ミオナール 筋緊張
BELVIQ 肥満症	ルネスタ 不眠症
Fycompa てんかん	Zebinix てんかん

主要パイプライン



ディスカバリー エンジン



筑波研究所



APCIS*4(米国 Andover)



カン研究所(神戸)



EKC*5(英国 Hatfield)

*1 出典: Evaluate Pharmaを利用した社内推計 *2 アライアンス収入 *3 Biogen社が開発中(エーザイはオプション権を保有)

*4 Andover Product Creation Innovation Systems *5 欧州ナレッジセンター

ニューロロジーとオンコロジーの2領域集中



Eisai Oncology Group

2014年度売上収益 **986億円**

グローバル売上ランキング*1 17位

<主要製品>

Halaven

乳がん

LENVIMA

甲状腺がん

Aloxi/Akynzeo

制吐剤

トレアキシン/シンベンダ

非ホジキンリンパ腫等

ギリアデル

悪性神経膠腫

主要パイプライン

フェーズ I

フェーズ II

フェーズ III

SF3B1モジュレーター
骨髄異形成症候群 他
(前臨床)

LENVIMA

腎細胞がん

LENVIMA

肝細胞がん

FGFR4阻害剤

肝細胞癌がん 他
(前臨床)

LENVIMA

子宮内膜がん (フェーズIIb準備中)

LENVIMA

免疫チェックポイント阻害剤*2との併用

Halaven

免疫チェックポイント阻害剤*2との併用

Halaven

軟部肉腫(申請中)

E7046

選択的EP4受容体
拮抗剤*3

Farletuzumab(MORAb-003)

プラチナ感受性卵巣がん

MORAb-004

メラノーマ、大腸がん、軟部肉腫

Halaven

乳がん(中国)

E7090

FGFR阻害剤

Amatuximab(MORAb-009)

中皮腫

ディスカバリー
エンジン



筑波研究所



APCIS*4(米国 Andover)



H3 Biomedicine Inc.
(米国 Cambridge)



モルフोटেক (米国 Exton)

*1 出典: Evaluate Pharmaを利用した社内推計

*2 抗PD-1抗体 ヘムブロリズマブ

*3 EP4はプロスタグランジンE2受容体の1つで、EP4からのシグナルを抑制することで腫瘍免疫への効果を期待

*4 Andover Product Creation Innovation Systems

2015年度 連結業績見通し(IFRS)



(億円、%)

	2014年度		2015年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上収益	5,485	100.0	5,565	100.0	101
売上原価	1,936	35.3	1,960	35.2	101
売上総利益	3,549	64.7	3,605	64.8	102
研究開発費	1,319	24.1	1,265	22.7	96
販売管理費等*	1,946	35.5	1,880	33.8	97
営業利益	283	5.2	460	8.3	162
当期利益	435	7.9	270	4.9	62
EPS(円)	151.6		93.8		62
ROE(%)	7.7		4.5		
DOE(%)	7.6		7.2		
配当金(円)	150		150		

* 販売管理費等:販売管理費+その他の損益

2014年度期中平均レート 米ドル:109.92円、ユーロ:138.77円、英ポンド:176.79円、人民元:17.73円

2015年度期中平均予想レート 米ドル:120円、ユーロ:137円、英ポンド:183円、人民元:19.20円

参考資料

セグメント売上収益



(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	売上収益	構成比	売上収益	構成比	前同比
日本*1	1,396	51.9	1,342	48.7	96
アメリカス*2	599	22.3	606	22.0	101
中国	190	7.1	261	9.5	137
アジア*3	148	5.5	173	6.3	117
EMEA*4	181	6.7	202	7.3	111
薬粧事業(日本)*5	85	3.2	90	3.3	106
報告セグメント計	2,599	96.6	2,674	97.0	103
その他事業	91	3.4	81	3.0	89
連結売上収益	2,691	100.0	2,755	100.0	102

日本、アメリカス、中国、アジア、EMEAは医薬品事業

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 *2 北米、中南米 *3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等 *4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

*5 一般用医薬品

セグメント利益



(億円、%)

	2014年4-9月			2015年4-9月			
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比
日本*1	627	73.0	45.0	568	66.3	42.3	90
アメリカス*2	84	9.7	14.0	91	10.7	15.1	109
中国	56	6.5	29.6	80	9.4	30.7	143
アジア*3	37	4.3	24.7	46	5.4	26.8	127
EMEA*4	31	3.6	17.1	44	5.2	21.9	143
薬粧事業(日本)*5	△0	△0.0	△0.5	14	1.7	16.1	
報告セグメント計	834	97.1	32.1	844	98.7	31.6	101
その他事業	25	2.9	27.2	12	1.3	14.2	46
セグメント利益計	859	100.0	31.9	855	100.0	31.1	100
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△679			△675			
連結営業利益	180		6.7	181		6.6	100

日本、アメリカス、中国、アジア、EMEAは医薬品事業

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

*2 北米、中南米 *3 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

*5 一般用医薬品

日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	1,396	100.0	1,342	100.0	96
医療用医薬品計	1,243	89.0	1,182	88.0	95
アリセプト	242	17.3	215	16.0	89
ヒュミラ	149	10.6	157	11.7	106
パリエット*1	192	13.7	157	11.7	82
リリカ*2	98	7.0	118	8.8	121
メチコバル	115	8.2	106	7.9	92
ワーファリン	45	3.2	39	2.9	88
ハラヴェン	30	2.1	34	2.6	115
アクトネル	34	2.4	33	2.4	96
ルネスタ	21	1.5	29	2.1	137
セルベックス	25	1.8	20	1.5	80
レンビマ			6	0.5	
ジェネリック医薬品	125	8.9	132	9.8	106
診断薬	28	2.0	29	2.2	102
セグメント利益*3	627	45.0	568	42.3	90

*1 ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキア400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含む *2 アライアンス収入

*3 当連結会計年度より日本における一部の費用の管理体制を見直し、販売費および一般管理費の配分方法を変更しました。

この変更に合わせて、前連結会計年度の「日本医薬品事業」及び「薬粧-日本」のセグメント利益、「親会社の本社管理費等」の数値を修正再表示しています。

アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	599	100.0	606	100.0	101 [86]
Aloxi	236	39.3	275	45.5	117 [99]
ハラヴェン	76	12.8	90	14.8	117 [101]
Banzel	45	7.5	61	10.0	135 [114]
アシフェックス	67	11.2	43	7.1	64 [54]
レンビマ			32	5.4	
BELVIQ	27	4.6	26	4.3	95 [80]
Fycompa	5	0.8	16	2.7	343 [293]
セグメント利益	84	14.0	91	15.1	109 [88]

[]内は現地通貨ベース

中国、アジア医薬品事業の業績



<中国>

(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	190	100.0	261	100.0	137 [117]
メチコバル	82	43.0	103	39.5	126 [108]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	30	16.0	48	18.4	158 [136]
アリセプト	22	11.7	27	10.5	123 [106]
パリエット	13	6.9	18	6.8	134 [115]
セグメント利益	56	29.6	80	30.7	143 [120]

[]内は現地通貨ベース

<アジア*>

(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	148	100.0	173	100.0	117 [107]
アリセプト	44	29.8	51	29.6	116 [107]
ヒュミラ	40	26.9	46	26.6	116 [106]
パリエット	18	11.9	18	10.2	99 [91]
メチコバル	13	8.7	17	10.0	134 [122]
ハラヴェン	5	3.4	9	5.2	180 [162]
セグメント利益	37	24.7	46	26.8	127 [112]

* 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

[]内は現地通貨ベース

hbc
human health care

EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



<EMEA*>

(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	181	100.0	202	100.0	111 [113]
ハラヴェン	53	29.5	66	32.7	123 [124]
ゾネグラン	39	21.5	41	20.2	105 [106]
Zebinix	15	8.3	19	9.2	123 [125]
Fycompa	11	5.8	16	7.7	147 [148]
イノベロン	10	5.8	11	5.3	103 [103]
レンビマ			2	1.0	
セグメント利益	31	17.1	44	21.9	143 [158]

* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[]内は現地通貨ベース

<薬粧-日本>

(億円、%)

	2014年4-9月		2015年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	85	100.0	90	100.0	106
チョコラBBグループ	56	65.6	56	62.5	101
セグメント利益*	△0	△0.5	14	16.1	

* 当連結会計年度より日本における一部の費用の管理体制を見直し、販売費および一般管理費の配分方法を変更しました。
この変更に合わせて、前連結会計年度の「日本医薬品事業」及び「薬粧-日本」のセグメント利益、「親会社の本社管理費等」の数値を修正再表示しています。